



# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.31



## 火納め式～石巻ブロック内災害廃棄物の焼却処理が終了しました～

東日本大震災で発生した災害廃棄物については、被災市町の委託を受け、県が処理を進めてきましたが、石巻ブロックの焼却が終了することとなり、その火納め式が、1月18日に石巻市潮見町で行われました。

式では地元の鹿島御児神社の神官による神事に続き、若生副知事始め、石巻市長、東松島市長、女川町長、環境副大臣、安住衆議院議員、共同企業体代表による埋火ボタンの押下による炉内の燃焼バーナーの停止のセレモニーが、関係者の見守る中で執り行われました。

石巻ブロックでは、県内で最も多い約300万トンのガレキを処理しましたが、その内約56万トンを5基の仮設焼却炉で焼却処理し、目標とした平成25年度内の処理終了を予定通り迎えることとなりました。

また、処理にあたっては、最新の機器の導入やその後の手選別によるリサイクルの徹底、海上運搬やGPSを利用したリアルタイム運行管理システムの採用による交通渋滞・事故の回避など様々な工夫が採用され、今後の災害廃棄物処理に大きく貢献するものと評価されています。

これで県が委託を受けた県内4つのブロック全てで災害廃棄物の焼却処理が終了したこととなり、復興に向けて新たなステージへ進んでいくことになります。



【埋火ボタンを押している様子】



【無事役目を終えた焼却炉】

## 管内認知症地域ケア推進会議を開催しました



1月27日に、認知症高齢者とその家族への支援の現状及び問題意識を関係者間で共有し、今後の支援体制づくりを検討するための会議を開催しました。

会議では、平成25年9月1日に認知症疾患医療センターとして指定されたこだまホスピタル及び石巻・登米圏域での県・市町の現在の取組み状況や今後の取組みが報告され、認知症施策に関わる機関が現状と問題点について共有したほか、今後の支援体制が検討されました。

高齢者の4人に1人は認知症と認知症予備軍といわれています。相談機関などを上手に活用して、地域で支えあう体制を作りましょう。

## 仮設石巻市夜間急患センターを

## 利用しましょう

急患や夜間の患者さんを診察する仮設石巻市夜間急患センターをたくさんの方に知って頂くため、当事務所では仮設石巻市夜間急患センター等の案内を付けたポケットティッシュを石巻市・東松島市・女川町に配布しました。

仮設石巻市夜間急患センターの診療科目は内科・外科・小児科の3科。医療設備も充実しておりますので、緊急の時はぜひ利用してください。



仮設石巻市夜間急患センター

石巻市日和が丘一丁目2-11

0225-94-5111



【配布したティッシュ】

冬は、雪や気温の低下などの天候の影響などから、どうしても身体を動かすことがおっくうになって、運動不足になりがちです。近所を散歩するなど、できるだけ外で身体を動かす機会を作りたいものですね。そこで毎日の生活の中で、簡単にできる身体の使い方や、体力の維持についてご紹介するコーナーを始めました。ちょっとした取り組みで、毎日がいきいき過ごせればいいですね！

### ●片足腹筋（息を吐きながら動かしてください）

- ①膝を胸に近づけるように片足を引き寄せます。
- ②おへそを見るように、少しだけ頭を持ち上げます。
- ③足を交互にゆっくり上げ、できれば数秒止めてください。（3回ずつ）



▲運動の回数や、止めておく時間は無理のない範囲でお願いします。

### 第1回は、朝、布団の中でできる運動です

▲この運動をすると、足の付け根の筋肉と腹筋に力が入り、腰の筋肉が緩みます。朝、いきなり起きて活動する前に、腰回りの筋肉を調整することで、腰痛の予防になります。無理のない範囲で続ければ、きっと身体が軽くなったと感じるはずです。

▲運動中に、意識して足首を曲げるように気を付けていれば、すねの筋肉が強くなり、歩く時につまづきにくくなります。

作業療法士 監修

## 災害公営住宅への入居が進んでいます

石巻市において災害公営住宅の入居が進んでいます。今回2月1日から新たに供用される災害公営住宅は、南中里一丁目復興住宅(48戸)、沖六勺（おきろっく）西復興住宅(35戸)、沖六勺東復興住宅(26戸)の3住宅(109戸)です。

これにより、被災された方々が入居した災害公営住宅の合計は5住宅(149戸)となります。現在は石巻市のみですが、東松島市と女川町においても整備が着実に進んでおり、今後、入居が始まる予定です。



【石巻市南中里一丁目復興住宅(48戸)】

【石巻市沖六勺西復興住宅(35戸)】



## 派遣職員を紹介します

新潟県から来ました  
保健師の 富山 です

新潟県柏崎地域振興局より派遣



【富山保健師】

私が勤務する柏崎地域には、東日本大震災後、福島県から約1,000人の方が避難されてきており、微力ながらこころのケアなどに携わっています。（写真と一緒に写っているのは、「ふくかなちゃん」と言います。）

毎朝、高速道路を利用して、車で70Km通勤しています。宮城県は新潟県と違い、雪の心配がないようですので、車を使わずどんどん“まち歩き”しようと思います。

1か月という短い期間ではありますが、できることなんでもやりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### お問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所 復興支援情報発信チーム  
HP:<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/>  
Tel:0225-95-1416(代表) Fax:0225-94-8982